

一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸
2023年度 第3回 キャリア委員会
議事録

開催日時：2023年12月1日（金）14:00～14:50

開催場所：起業プラザひょうご

兵庫県神戸市中央区浪花町56 三井住友銀行神戸本部ビル2F

出席校（委員、代理）：18校

◎関西学院大学・聖和短期大学（松本、山口）、
○甲南女子大学（深澤）、○神戸国際大学（鈴木）、
芦屋大学（中村）、大手前大学・大手前短期大学（久保）、関西国際大学（高橋）、甲南大学（天羽）、
神戸大学（田中、安藤）、神戸海星女子学院大学（田辺）、神戸学院大学（住本）、
神戸市外国語大学（浅井）、神戸親和大学（實安）、神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部（木村）、
姫路獨協大学（水谷）、兵庫県立大学（三嶋、片山）、
※◎は委員長校、○は副委員長校 ※敬称略

欠席校：7校

○関西福祉大学、神戸松蔭女子学院大学、園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部、
兵庫大学・兵庫大学短期大学部、流通科学大学

事務局：関西学院大学（永野）

大学コンソーシアムひょうご神戸（山崎、佐藤、小畑、山本、大濱、足立、浅野）

I. 協議事項

1. 情報公開する企業100社（2023年度分1社）の選定及び公開状況について（資料1）
2. 2023年度キャリア委員会事業自己評価について（資料2）
 - ① 大学間連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
 - ② 県内企業・大学等の魅力を情報発信
 - ③ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
(ひょうご留学生インターンシップ・合同企業説明会)
 - ④ 外国人留学生採用ワンストップ支援事業

II. 懇談事項

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について（資料3）
2. 尼崎市からのR6年度インターンシップ等推進事業（資料4）
3. 来期の留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムについて（資料5）

III. 連絡・調整事項

1. 2023年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について
第4回委員会 2月：2024年度 事業計画・予算（案）
第5回委員会 3月：2023年度 事業報告・決算（案）

<資料一覧>

資料1：2023年度 地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト 掲載情報一覧（案）

資料2-1：【理事長名依頼状】2023事業計画の「自己評価」の作成依頼

資料2-2：2023年度 キャリア委員会事業 自己評価（案）～

資料3：大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について

資料4：R6年度インターンシップ等推進事業について

資料5：2024年度 ひょうご留学生インターンシップ 概要について

I. 協議事項

1. 情報公開する企業 100 社（2023 年度分 1 社）の選定及び公開状況について

事務局より資料 1 に基づいて、情報公開する企業 100 社（2023 年度分 1 社）の選定及び公開状況についての説明があり、情報公開する企業 100 社（2023 年度分 1 社）の選定及び公開状況について原案通り承認された。なお、同企業一覧に 2023 年度新たにミモザ企業と地域未来牽引企業の蘭を追加した旨の説明もあった。

2. 2023 年度キャリア委員会事業自己評価について

- ① 大学間連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト【①取組 1】
- ② 県内企業・大学等の魅力を情報発信【①取組 2】
- ③ 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム
(ひょうご留学生インターンシップ・合同企業説明会)【④取組 1-1】
- ④ 外国人留学生採用ワンストップ支援事業【④取組 1-2】

事務局より、資料 2-1 及び 2-2 に基づき説明があり、上記の各取組の自己評価について、原案通り承認された。

II. 懇談事項

1. 大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値について

山崎事務局長より、資料 3 に基づき、コンソの在り方、どのような運営が良いのかについて、企画運営委員会において検討を進めてきた旨の説明があった。また、加盟各校の教職員に依頼したアンケート結果に基づき、コンソの認知度、コンソ参画のメリット、コンソへの期待について説明があった。なお、資料 3 の最終ページ中、1. ①学生による SNS アカウント運用については、国際交流委員会が、1.②共同開講については、教育連携委員会が、2.①FD・SD の共通化については、FD・SD 委員会が、それぞれ検討を進めることになった旨の説明があった。

関西学院大学永野課長より、コンソ加盟のメリットとしては、一大学では出来ない事業を共に行うことであり、自大学にはない専攻の学生との交流や一大学では困難な留学生支援、各大学が協力して FD・SD 研修を行うなどコンソ全体としてのメリットを打ち出していくべきではないかとの説明があった。

松本委員長より、本キャリア委員会に出席するメリットとしては、情報共有の場にすると共に知識創造の場にしたいと考えている旨の説明があった。

<主な意見等>

・本件に関して、キャリア委員会としての意見を出すべきなのか、あるいは全体としての意見を出すべきなのか。
⇒キャリア委員会として大学コンソーシアムひょうご神戸の付加価値を高めるための意見をいただきたい。

2. 尼崎市からの R6 年度インターンシップ等推進事業

山崎事務局長より、資料 4 に基づき、2. 尼崎市からの R6 年度インターンシップ等推進事業の受託について説明があった。コンソの役割は、①参加者 15 名を確保するための広報活動、②15 名を超えた場合の調整、③トラブルが生じた際のクレーム処理のために大学と企業、大学と尼崎市を繋ぐ、以上の 3 点である旨の説明があった。

<主な意見等>

・留学生も参加対象者なのか。
→日本人学生がメインであるが留学生も対象者である。

3. 来期の留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムについて

事務局より資料 5 に基づいて、2024 年度ひょうご留学生インターンシップについて説明があった。本年度は、兵庫県のシステムを使用した。次年度は大学コンソのシステム (Dropbox) を使用し、受入企業への事前訪問を復活させること。事前訪問を経て正式に実習受け入れが確定することとするため、所属大学には、当該学生が合格できるよう「誓約書」「目標設定シート」等のご指導を頂きたい。また企業・実習生・大学との連携が深まることで実習効果が高まることを目指すために、事前訪問の際には是非大学関係者の同行をお願いしたい。留学生の資質向上を図るために学内セミナー参加の奨励と保険加入についても各大学にて確認いただきたい。情報共有については、従来のようにメールでの案内ではなく、コンソのシステム (Dropbox) を見に行っていたことによる旨の説明があった。

<主な意見等>

・共有される情報について、他大学の学生の情報も共有されるのか。
→各大学の留学生の情報を **Dropbox** に格納することになるので、自大学の情報のみを共有できる。
ただ、業務の効率化、ならびに情報共有の場として、他大学の状況を共有することで知識創造に繋がる仕組みに、今後も検討を継続していきたいと考えている。

III. 連絡・調整事項

1. 2023年度のキャリア委員会開催予定と主な議題について

事務局より2023年度の第4回および第5回キャリア委員会開催予定と主な議題について案内があった。

以上をもって、第3回キャリア委員会の議事は終了した。

以上